

Like You 

らしいくゆる～




花塚市長を囲んでのカフェトークを開催(1/29)

委員のメンバーが作ったカステラとお抹茶をおいしくいただきながら、活発な意見交換をすることができました。

市長のあいさつの中で、男女共同参画の現状、また学校外の課外授業等の案についてのお話などがありました。また、女性の視点からみた道の駅きつれがわや市内の公共交通の話もあり、私たち委員もなるほどと納得することや、こちらからの提案などみんなが様々なことを身近な問題として考え、意見を交わすことができました。

市長の想いと私たち委員の想いを意見交換することのできたこのような機会は、とても大切なことだと思いました。「今回一回だけでなく、これからも」とおっしゃってくださった花塚市長。今回の一時間余りのカフェトークがさくら市の今後に活かされますように、また、これからのさくら市がより良く、市民が住みやすいさくら市になりますようお願いしたいと思います。

カフェトークの詳細はP2-3をご覧ください。 

“市長とカフェトーク”テーマ

男女共同参画社会の実現に向けて

冒頭、市長のあいさつの中で…こんな話がありました。

「先ほどカフェトークの前に、政策会議をしてきたのですが、男性ばかりで会議をしてきました。ここは女性の方が多いですね。」

みなさんも想像してみてください。会社で、地域で、話合いがもたれるとき、その場にいるのは男性が多いですか？それとも女性が多いですか？ちなみに、日本の人口比率*1は男性が49%、女性が51%で、ほぼ同じ割合となっています。しかし、各意思決定の場においては下のデータのように男性が多くを占めています。

《意思決定の場における男性の割合》*2

- ◆国会議員…86.3%、市区町村議会議員…87.2%
- ◆民間企業(100人以上)における管理職(課長以上)…89.7%

*1：H27年度国勢調査、*2：内閣府男女共同参画局

市長からは、公約である「5つの進化」についての話も交えながらお話いただきました。



市役所の男女共同参画の現状はいかがですか？



市役所における現在の採用においては男女共同参画が進んでいますが、管理職登用の面から見るとしばらく進みそうもありません。どういうことかといいますと、人事面では、男女共同参画の流れができる前に採用された職員はほとんど男性職員です。現在部課長は約40名近くいますが、女性の課長は2名です。しばらくは幹部候補に該当する女性職員がいません。しかし、最近の採用職員は、女性の方が優秀で多く採用してるのが現状です。

先ほども言いましたが、管理職の会議を行うと

ほとんどが男性であり、決定していくのは男性です。そういうところは、男女共同参画はまだまだだと思います。



リニューアルされた道の駅に女性の意見は取り入れられていますか？



農産物の売上げを伸ばすことについては、道の駅をリニューアルして結構評判がよいのですが、女性から見ると欠けている点もあるようです。例えば、丼ぶりもののメニューが多く、女性が一人で行って食事するには抵抗があると思います。また、地元の野菜はたくさん売っているのにヘルシーな野菜のメニューがあまりありません。女性が呼び込めないとお客様も増えていかないのかなと思います。

建物が完成していて、スペースも限られているので、女性向けのメニュー（サラダバー、いろいろな種類の飲み物の提供等）やそのための場所を考案したり、トイレをより美しく、より使いやすくしたりすることも今後考えていかなければならないと思っています。



「道の駅きつれがわ」はいい場所だと思いますが、若い女性がそこを目的に行きたくならない場所ではないかと思うので、益子にあるレストランのような情報を集めてやっていくのもよいのではないのでしょうか？



さくら市にも若手のいい料理人がいます。道の駅の和室を利用してオープンキッチンなどもできると良いなと考えたりしています。

このカフェトークを通して思いついたことがあります！女性だけの会議を持ちたいですね！優秀な女性職員もいるので、意見をもらえると良い取り組みができるかなと思います。良い会議になるのではという気がします。



先日、私が働いている会社で女性事務員だけの会議を開きました。男性だけの会議、管理職の会議はありますが、社長が女性からの意見を聞きたいということで行いました。実施したことにより女性も高い評価をしていただきました。これまで女性社員はそういった機会がなかったので、女性の能力を認められる良い機会になりました。



個人的には、今後、特に小さい子どものいる母親、ダブルケア*1をしている方、障がいを持つ子を育てている方の支援ができたらいいなと思っています。孤独になりがちな母親が社会とのつながりを持ち続けられるよう、気軽に誰もが集える場所があると良いと思います。

小さい子を持つ母親同士だと、いつでもというわけにはいかず、子どもが病気のときなどは支えあうことが難しかったりすることもあります。世代を超えて地域で交流できれば、地域の人や子ども達から元気を、子どもや母親世代は豊富な経験や知識を得ることができ、互いに良い点があると思います。

*1：育児と介護を同時に行うこと



テレビでDVについての放送を見ました。今回は加害者に焦点をあててインタビューされていましたが、加害者は所有意識、特権意識、被害者意識を持っているそうです。そういった意識を改革していかないと、男女参画といっても変わらないと感じました。



進化プランの中でも、子育て世代支援センターの開設や市民活動支援センターの開設などを掲げています。お話にあったような方々の支援もできるような体制を整える努力をしていきたいと思っています。

また、DVなどは犯罪や傷害が絡んでいたり、家庭の中で起こっていることが多いので、踏み込んでいくには、専門家が入らないと難しいところも多々ありますが、相談体系など担当課とも話し合いながら進めていきたいと思っています。



教育分野はどうですか？



教育の分野では、子ども達の学力アップに向けて「課外スクール」を実施しようとしています。学校の外でも、どれだけ子ども達をみることが出来るか。子ども達の学力アップには家庭教育の力も大きく、お子さんの一番の理解者であるお母さんお父さんの力も必要としています。今後とも、ご協力をお願いいたします！

学校の中をみても、女性の先生が多く、女性の管理職も多いです。教育の面においても女性の力が必要とされていると思います。



パーティ（とちぎ男女共同参画センター）で男性の料理教室を企画しています。これまでは60～70代の方の参加が多かったのですが、最近は30代のお父さんが託児を利用して参加しています。会社ばかりだと地域になじめないので、友達作りも兼ねているのですが、若い世代の参加の理由が、月数回、奥さんを自由にさせてあげたいということで、考え方も変わってきたのだと感心しました。



私も、自分のことはできるだけ自分でやるようにしていますが、妻にも自分の時間を持ってほしいと思っています。それぞれが人生を楽しめると良いですね。

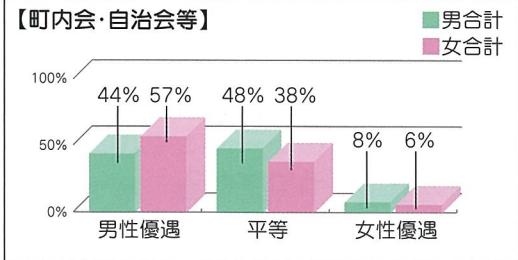
市長とのカフェトークを通し、市の状況などもわかりとても良い機会となりました。

男女共同参画については、少しずつ社会が変わってきていることを感じていますが、どんな場面においても男女共に輝ける社会を、今後も目指していきたいと思っています。

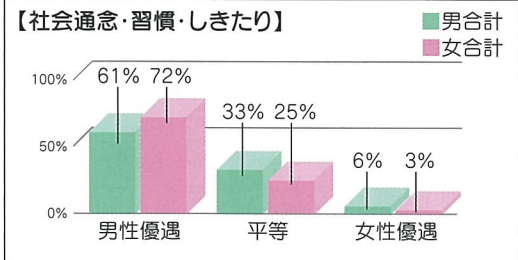
男女共同参画アンケート結果 (ゆめ!さくら博にて)【一部抜粋】

大人への質問

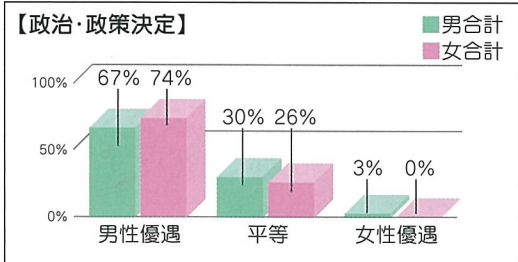
Q 男女の地位は平等になっていると思いますか?



町内会や自治会では「男性優位」と答えている人が女性も男性も約50%います。なかなか難しい問題です。



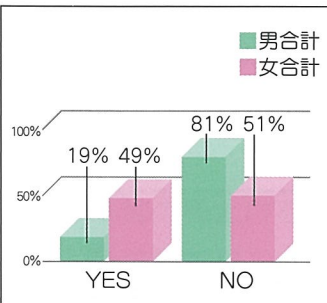
こちら「男性優位」が圧倒的です。これは昔からのしきたりなどになかなか女性が入り込めない根強いものがあるのでしょうか。



政治や政策決定の場にも女性が参画しにくいこと、女性が少ないことが「男性優位」という結果になっていると思います。女性も積極的に臨んで欲しいと思います。

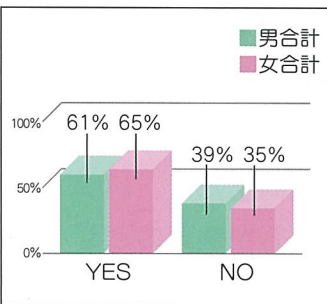
子どもへの質問

Q 男らしく、女らしくしなさいと言われたことがありますか?



男の子は元気で活発であたりまえ、女の子はそれだと目立つのでしょうか?! 大人は、つい口に出してしまうようです。

Q 掃除や洗濯などは、家族全員で協力してやっていますか?



約40%の子ども達はまだまだ家族全員で協力できていないかと思ってしまうようです。子ども達にもできることは手伝ってもらいましょう。

栃木県男女生き活き地域活動コンテスト 優秀賞受賞

さくら市男女共同参画推進委員、栃木県男女共同地域推進員である渡邊能辰わたなべよしとさんが、地域において男女共同参画の推進に貢献する活動に贈られる賞（県内4団体が受賞）で優秀賞を受賞されました。

渡邊さんは、長年にわたり「男女共同参画の視点で取り組む防災ハンドブック」の配布・推進活動に取り組み、さくら市に貢献いただいております。

おめでとうございます。



さくら市男女共同参画推進委員

募集!

私たちと一緒に市の男女共同参画に向けた活動をおこなってみませんか?

イベントの企画や情報紙の発行など、誰もが住みやすく明るいさくら市を目指して楽しみながら活動していきましょう! 老若男女問いません。ぜひ、あなたの力を活かしてください!

☎ 総合政策課 (☎681-1113)

編集後記

市長とのカフェトークで感じたことです。市長がニコニコ笑顔で部屋に入ってくると、みんなの笑顔があふれて雰囲気が一変し明るくなりました。イケメン市長にうっとりメロメロの顔をしている方もいたなあ(笑)。

市長の話は実にテンポ良く、即答してくれてとても楽しかったです。市の政策に対し、女性の意見を取り入れようとしていると感じました。

Y. W